

合格者保護者説明会を開催



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は1月から2月にかけての週末を利用して、自衛官候補生及び一般曹候補生の合格者と保護者を対象として自衛隊制度説明会を実施した。

これは自衛官を職業の一つとして選んだ対象者とそのご家族が自衛隊についての理解を深め、入隊について真剣に話し合い、将来の夢や目標を持って自衛隊へ入隊してもらいたいとの思いから開催しているもので、今年度は30家族が参加した。

説明会では自衛隊の多様な職種・職域や福利厚生を含む様々な制度から退職後の話までの全般説明と、教育隊の訓練映像を見てもらうとともに、質疑応答の時間を設け入隊前の不安や疑問などの払拭を図った。

参加した保護者からは「入隊後の職種についても子供と話し合ってみます」「もっと若ければ自分が自衛隊に入りたかった」などの声も寄せられた。

上大岡募集案内所では「今後も対象者だけでなく保護者へのフォローもしっかりおこない、入隊・入校までサポートしていきたい」としている。



航空自衛隊航空学生の合格証授与セレモニー



舞岡高校にて



金沢高校にて

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は2月10日（金）に横浜市立金沢高等学校、22日（水）に神奈川県立舞岡高校において同校からの航空学生合格者に対して合格通知書授与セレモニーを実施した。金沢高等学校からの合格者である一戸将介君のセレモニーには佐々木健一学長や副学長、学年主任・担任教諭など7名の教職員が、舞岡高等学校からの合格者であるリンキ武琉君のセレモニーには小坂茂生学長に参加していただき、教職員が見守る中、神奈川地方協力本部長（平井1等海佐）から合格通知書が手渡された。

パイロットになるためには勉強だけでなく、肉体的・精神的にも厳しい訓練に耐えていかなければならないことから、途中で脱落することなく最後までやり遂げる強い意志をもって入隊してもらうため、3年間お世話になった教職員の前で決意を新たにしてもらいたいとの思いから本セレモニーを開催した。

一戸君は高校1年生の時にYouTubeでパイロットの活躍する映像を見たことをきっかけに「パイロットになりたい」と思いを強くし、2人も夏休み期間中には事務所の勉強会にも積極的に参加するなど努力を重ね栄誉を勝ち取った。

金沢高校の佐々木校長からは「大変な訓練が待っているかと思いますが、負けずに頑張ってください」と、舞岡高校の小坂校長からは「大変名誉なことだから心と体に向けて最後まで頑張ってください」と激励の言葉を贈られ、他の教職員からは、早くも将来パイロットとして母校訪問を依頼されるなど温かい祝福を受けた。

上大岡募集案内所では「今後も一人ひとりの自衛隊受験者に対し親身にアドバイスし、合格へのサポートをしていきたい」としている。